

胃がんリスク検診（ABC検診）で 胃がん撲滅を質問！！

近年、ピロリ菌が原因で胃潰瘍、胃がんへと症状を悪化させていることが判明している。ピロリ菌は生水（井戸水）を飲んだことで感染するが、除菌することができ、ピロリ菌治療が保険適用となったことから、除菌さえすれば、胃がん撲滅ができる。胃がんリスク検診とは、血液検査により胃が今健康なのか、不健康なのかを見る検診である。まず、ピロリ菌がいる・いない。胃の萎縮がある・なし。で分別しピロリ菌感

染者はまず除菌治療→内視鏡検査へ。除菌した後も定期的に内視鏡検査を受けることで胃がんへのリスクを軽減できるものである。もちろん、ピロリ菌も萎縮もある方は即除菌、内視鏡検査へ結果で医療機関受診へとつなげることで費用対効果、胃がん発見率も胃がん検診受診率も繋がる検診である。



問い

特定健診・後期高齢者検診・胃がん検診の受診率、町の目標値は？ここ5年間で胃カメラ・バリウム検診での胃がん診断者数は？

答え

平成27年度は特定健診は34%、後期高齢者生き生き検診は、3.9%、胃がん検診は、11.9%。目標数値は平成29年度末で45%。診断者はいない。

問い

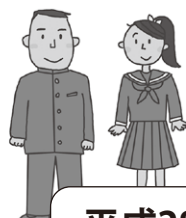
胃がん撲滅のために胃がんリスク検診を特定健診の中で導入を？

答え

国の動向も注視しているが、ピロリ菌検査は国の対策型検診としての奨励がされていない。町では以前から実施している内視鏡検査が有効と考えるので導入はしない。

問い

ピロリ菌検査は早期発見が大事。佐賀県では全県あげて中学3年生全員に無料でピロリ菌検査を学校検診の尿検査で行っている。当町での実施はどうか？



答え

ピロリ菌感染者と判明した場合のいじめや本人の心労、多感な時期でもあることや安全性の確認ができていないことから実施できない。

平成28年度 法律相談（上田会場）

<日 程> 1月21日（土）、3月11日（土）

<時 間> 午後13:00～15:30

<場 所> 上田市大手町コミュニティセンター2階

<弁護士> 土屋準弁護士 ○予約受付は川島まで



* 公明新聞の御購読をお願いします。
（日刊1ヶ月1,887円、日曜版1ヶ月293円）
川島さゆり TEL 080-9804-7656 まで

さゆり通信

発行：川島さゆり 軽井沢町大字長倉 4280-5 TEL 46-2135

ごあいさつ

昨年は皆様には大変にお世話になりました。心から御礼申し上げます。

早くも今年は2期目の折り返し地点となります。

日々刻々と時間が経ち、自身の未熟さを痛感しております。

昨年は総務常任委員会副委員長、広報広聴常任委員会委員長として議会改革の為にと取り組んで参りました。

本年も更に改革を加速化し中身のあるものへと押し上げて参ります。

みなさまから頂くご要望・ご意見は私の一番の宝であります。

これからも何でも結構ですので川島までお寄せ下さい。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



イラスト：齊藤暁雄

活動レポート



ピッコロの会の皆さんと！



いざという時のために
古宿区炊きだし訓練！



清水県議中心に松本にて遊説活動！



一日消防署長で
藤巻町長と！

災害時における 避難所運営について質問！

イラスト：齊藤暁雄



総務常任委員会で静岡県三島市に「女性に配慮した避難所運営の取り組みについて」視察した。

危機管理課の女性係長が素晴らしく、岩手県山田町に1年間派遣職員として、熊本にも

5日間行き、その目で発災当時の大変さを実感し、その中で女性の意見が大事だということで避難所マニュアルに女性の意見を反映させ、班の女性参画人数まで明記している事に感動し一般質問した。

問い

当町の避難所マニュアルには、避難所責任者は町職員とある。熊本地震では初動期からずっと職員が避難所に詰めていたので、被災者救済や災害復旧に支障をきたした。今回の防災訓練での避難所開設訓練での職員の検証は？もう一度点検をした方がよいのでは？

答え

現在検証中。避難所開設運営の主体は職員、マニュアルに基づき避難所リーダー代行もある。3日から3週間は避難所運営委員会で行うが、避難所に関わる活動を職員も一緒に行う。今後自主防災組織や区の意見も聞きながら検証する。



問い

避難所マニュアルの更新は可能か？学校区ごとに女性の防災対策意見交換会の開催は可能か。そこでの意見を避難所マニュアルに反映させられないか？

答え

マニュアルはPDCAサイクルにより課題を検証し必要あれば改訂する。災害時での避難所運営の中でアンケート調査、女性や被災者の意見を反映させたマニュアル改訂を考えている。



問い

大槌町へ派遣されている職員は被災現場を見てきているが避難所マニュアルに意見を反映させたか？



答え

大槌町派遣職員は復興の住宅造成に関する業務なので意見はもらっていない。

問い

避難所マニュアルの中の組織編成の中に女性を入れる班を人数・検討という言葉として明記し女性参画を促すことは？「女性班」の設置は？（特に副会長・食料物資配布班など女性が必要）



答え

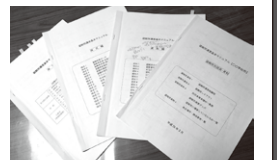
避難所運営委員会には、日赤奉仕団等をはじめ多くの女性の方にも参画してもらう。委員会作りは、町災害対策本部の保健福祉部等が中心に支援をする。今後の検証の中で、「女性班」を考えていく。

問い

避難所マニュアルを分冊し三島市のように「本文」・「様式編」・「資料編」・「避難所図面」に分冊し誰が見ても一目で次の行動に移れるようにできないか？この避難所図面を使い避難所開設訓練を学校区ごとにできないか？

答え

マニュアルは各区長に配布済みだが、避難所にも配布する。2次避難所に配置図等必要なので整備する。避難所開設訓練は、各区や自主防災組織等と協議しながら地区ごと実施を検討し、その中で配置図面を使って行うようにする。



問い

熊本地震発生時に最大で一日1400人を超える自治体職員の受け入れがあった。現場は混乱し適材適所に人員配置ができなかったと聞く。当町マニュアルでの「支援組織」「ボランティア班」はどのように組織され動くのか？

答え

運営委員会の中で、総務班・食料物資班・ボランティア班が運営する。

問い

障がい者や高齢者は避難所では、間仕切りだけではプライベート空間がないと体を壊し環境変化についていけず亡くなった方がいた。そこでプライベート空間を保持できる簡易型避難用テント「ひなんルーム」というものがある。熊本でも大活躍した。長野市・小諸市・御代田町でも導入されているかどうか？

答え

簡易型避難用テントは、備蓄品購入選定の際参考とする。

